

力チオン形低臭アクリル樹脂系 非水分散形塗料

ニッペ ケンエースG アクト^{III}

ニッペケンエースGアクト^{III}は、
NAD形アクリル樹脂塗料の特長である
やに止め性・防かび性・付着性の良さに加え、
施工中や施工後の臭気を大幅に低減した塗料です。

防火材料認定番号	品目名
NM-8585	塗料塗装/不燃材料
QM-9816	塗料塗装/準不燃材料
RM-9364	塗料塗装/難燃材料

ホルムアルデヒド 放 散 等 級	F☆☆☆☆

■特長

- 1 低臭溶剤を使用することにより、施工中や施工後の臭気を大幅に低減しました。
(※)臭いの感じ方には個人差があります。
- 2 やに止め性があり、旧塗膜に付着したタバコのやにがブリード(にじみ出る)しません。
- 3 防かび機能があるので、湿度が高いところの塗装に最適です。
(※)防かび効果は、かびの繁殖を抑制するものです。既に繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
- 4 シーラー不要で付着力が良好です。
(※)新設時および素材の種類や下地によっては、シーラーが必要な場合があります。

■用途

商店、事務所、工場、病院、学校などの内部・準外部。

■適用下地

※鉄部など金属面には、下塗りとして1液ハイボンファインデクロをご使用ください。

木部（屋内）への塗装には、下塗りに「1液ファインウレタンU100 木部用下塗」をご使用ください。

モルタル、コンクリート、ブロック、木部、鉄部、硬質塩ビ、かき落しモルタル

②繊維壁、耐火被覆用ケイカル板、ロックウールなどの非常にぜい弱な素材には使用できません

旧塗膜(EP、SOP、AE、EP-G(GP))

■標準塗装仕様

※旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。

●モルタル、コンクリート、ブロックの新設・改修塗装仕様

工程	塗 料 名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23°C)	希釀剤	希釀率(%)	塗装方法
素地調整	新 設 面：	1.	エフロレッセンス、レイタンスなどの粉化物、よごれ、油分などを除去してください。				
		2.	一液浸透シーラー、ファイン浸透シーラーなど溶剤形シーラーをご使用ください。				
	塗り替え面：	1.	浮き膜を除去し、その周辺もケレンしてください。				
		2.	粉化物、よごれ、ごみ、かびなどを除去し、清掃してください。				
上塗り	ニッペ ケンエースG アクト ^{III}	2	0.13~0.15 ^{注1)} 0.14~0.16 ^{注1)}	2時間以上	ニッペケンエースG アクションナー ^{注2)}	0~5 5~10	はけ、ウールローラー エアレスプレー

※上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

※カタログに掲載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載しております。

特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただきますようお願いします。

注1)「ケンエースGアクト^{III}」の塗付け量は、0.10kg/m²/回です。

注2)希釀剤は、ニッペケンエースGアクトシナーの他に塗料用シンナーAも使用できますがシンナー臭がでます。

●使用量：被塗装面単位面積あたりの塗装材料(希釀する前)の使用質量 ●塗付け量：被塗装面単位面積あたりの塗装材料(希釀する前)の付着質量



ニッペケンエースGアクトⅢ

■他の塗料との比較

◎大変良好 ○良好
△やや不良 ×不良

	ケンエースGアクトⅢ	非水エマルション	アクリルエマルション
塗膜性能	耐久性	◎	◎
	付着力	○	○～△
	防かび性	○	△
	やに、しみ止め	◎	○
	耐汚染、汚染除去性	○	△
	耐水、耐温水性	○	△
作業性	旧塗膜への適応性	◎	○
	ローラー・はけサバキ	○	○
	低温造膜性	○	△
	乾燥の速さ	○	○

■性能 白および淡彩

試験項目	規格	試験項目
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。	合格
塗装作業性	はけ塗りおよびローラープラシ塗りに支障があつてはならない。	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合格
乾燥時間(半硬化乾燥)	5時間以内とする。(23°C)	1
隠れい率%	90以上	93
耐水性	水に浸したとき異常がないものとする。	合格
耐アルカリ性	アルカリに浸したとき異常がないものとする。	合格
促進耐候性	白亜化の等級は1以下で、剥れ、はがれ及び割れがなく、色の変化の程度が見本品に比べて大きくならないものとする。	合格
防かび性	試料または、試験片の接種した部分に菌糸の発育が認められない。(JIS Z 2911)	合格

■塗り重ね乾燥時間

・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

	5~10°C	23°C	30°C
指触乾燥	1時間	20分	10分
塗り重ね乾燥	4時間以上	2時間以上	1時間以上

■商品体系

工程	商品名	系統	容量	色相	つや
上塗り	ケンエースGアクトⅢ	カチオン形低臭アクリル樹脂系 非分散形塗料	16kg 4kg	白、淡彩、中彩 ※1	つや消し

※1 濃彩の調色は対応できません

■施工上の要点と注意事項(詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください。)

- ケンエースGアクトⅢの下塗り材として1液ファインシーラーおよび1液ファインパーフェクトシーラーを使用すると、割れが生じるおそれがあるため、使用しないでください。
- 鉄部には直接塗装できません。あらかじめ、さび止め塗料を塗っておく必要があります。
- つや消し系の製品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんし、均一な状態でご使用ください。
- 防かび効果は、繁殖を抑制するものです。既に繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
- 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨露地などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、影れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。
やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
- 溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
- 所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつや引けやダレ、かぶり不良などを引き起こす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
- 異なる色相を塗り重ねる場合(例:1回目の上塗りを塗装してから、別な色相でラインや帯などを塗装する場合など)2回目の上塗りが1回目の上塗りを侵してラインや帯などが変色(ブリード)する場合がありますのでご注意ください。
- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清潔な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- 内部塗替えにおいて旧塗膜がO.P.、F.Eなどの油性系の場合、研磨すりを行ってください。下地処理が不十分な場合は、塗膜はく離の原因となります。
- 既存塗膜のはく離個所は、既存塗膜の塗装仕様でバターン合わせを行ってください。
- 改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤溶れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認の上、塗装仕様をご検討ください。
- 外部の風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ漫透シーラー(新)、ニッペバーチ漫透シーラー、ファイン漫透シーラーをご使用ください。
- 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材などを使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階で既に旧塗膜が剥がれていることがあります)そのまま塗装する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、完全に剥がることがありますので、最寄の営業所などにご相談ください。
- 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケット科学社製HI 500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
- 表面のごみ、ほこり、エフロレッセン、レイタンなどは除去し、目違い、ジャンカ、コードジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- A.L.C面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において隙間や段差などがある場合は、樹脂入りセメントモルタルで調整材(ニッペ1材カチオンフライヤー、ニッペ1材フライヤー#200)などで処理してください。(合成樹脂エマルション)の使用は避けしてください。
- 外部では、素材にセメント成分などが使われている場合は、エフロレッセンが発生するおそれがありますので溶剤系シーラーをご使用ください。
- 外部新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ漫透シーラー(新)、ニッペバーチ漫透シーラー、ニッペファイン漫透シーラーをお使いください。
- 塗装場所の気温が5°C以下、湿度56%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行ない、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- シーリング面への塗装は、塗膜の汚染は、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペブリードオフプライマーを下塗りすることで、汚染の低減が図れます。
- 竿木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、影れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。薄めすぎは隠れい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 大型壁面塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法等の条件を同一にしてください。
- はげ塗り仕上げとローラー上げが混在する場合、使用量、表面肌感が異なるため若干の色差がでますので、はげ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相が異なって見えることがあります。
- 塗装方法により色相が多少変化する場合がありますので、ローラー塗りは出来る限り入り隔まで入れてください。
- 汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法等の塗装条件を同一にしてください。
- 可塑剤が多く含まれる塩ビソリュード、塗ビニルマテー、プラスチック、ゴムバッキン、合成皮革、塗ビクロスなどへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようご注意ください。
- 平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや隙間にによるピンホール、凹凸などを防止するため、バテ工程や研磨工程が必要になる場合があります。
- 使用前に内容物が均一になるようにかくはんし、開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷蔵庫で保存し、速やかに使い切ってください。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

■本カタログ掲載商品の詳細な危険有害性情報や使用上の注意事項等については、安全データシート(SDS)をご参照ください。■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は、事前に相談ください。

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101 近畿支店 ☎06-6455-9608
東北支店 ☎022-232-6711 中国支店 ☎082-281-2180
関東支店 ☎03-5479-3614 四国支店 ☎0877-56-2346
北関東信越支店 ☎03-5479-3614 九州支店 ☎092-751-9861
中部支店 ☎052-461-1960

●本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

●本カタログ中の商品名、ロゴマークは、日本ペイントホールディングス株式会社または

日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。

●Copyright © 2023 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.

●日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

お家のカラーコーディネートガイド



無料メールマガジンの読者募集



2023年7月現在